

## 概要版

# 新・北九州市子ども読書プラン (第3次北九州市子ども読書活動推進計画) パブリックコメント 素案(案)

平成27年12月10日  
常任委員会資料  
教育委員会

## 2 これまでの成果と今後の課題など

## 資料4

### 1 計画策定にあたって

#### (1) 計画策定の趣旨

平成27年6月市議会定例会において、「北九州市子ども読書活動推進条例」が常任委員会提出議案として上程、全会派賛成で可決され、7月3日公布施行された。この条例では、基本理念に加え、具体的な事業として、学校図書館を支援する機能を併せ持つ「子ども図書館」の設置、付属機関として「北九州市子ども読書活動推進会議」を設置すること、「学校図書館」の蔵書の充実や「学校司書」の配置や能力向上などが盛り込まれている。

そこで、この条例の理念等をもとに、第3次の北九州市子ども読書活動推進計画である「新・北九州市子ども読書プラン」を策定することとした。

#### (2) 計画の位置づけ

本計画は、北九州市子ども読書活動推進条例及び子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」として策定する。

また、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン(改訂版)」で掲げる「読書好きな子ども日本一」をめざすための実施プログラムの一つとして位置づける。

#### (3) 計画期間

平成28年度～平成32年度(5年間)

#### (4) 計画の対象

条例における「子ども」の定義に従い、概ね18歳以下の者を対象とする。

#### (5) 計画の推進体制及び進捗管理

本計画の進捗状況及び効果を測るため、計画の各施策に指標と目標値を設ける。その結果を子ども読書活動推進会議に報告し、意見を聴きながら、計画的に各取組みを推進する。

#### (6) 協力体制

本計画の施策の実現のためには、全市をあげて協力体制を築くことが必要であり、PTA、読書活動推進団体・読み聞かせグループ等と連携・協力しながら各取組みを実施する。また行政内部では、学校、幼稚園・保育所、市立図書館のほか、子ども家庭局、市民文化スポーツ局などの関係部局・施設等との連携・協力体制のもとで事業を推進する。

#### (1) これまでの取組みと成果

- 本市では、平成18年以降、2度にわたり「北九州市子ども読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校・市立図書館などが相互に連携して、子どもの読書活動支援を行ってきた。

具体的には、新生児家庭に絵本を無料で贈るブックスタート事業や、市立図書館・学校・市民センターでの読み聞かせの実施、市立図書館や学校図書館の児童書の充実、学校における10分間読書の推進、学校司書の配置の拡充などにより、子どもの成長段階に応じた読書環境の充実に努めてきた。

- その結果、プランの全体指標である「家庭や学校図書館、市立図書館で普段(月～金曜日)読書を全くしない児童生徒の割合(不読率)が改善したほか、中学生の1ヶ月あたりの読書冊数や夏休みに実施する「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」(対象：保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)の参加者数が目標達成するなど一定の成果があった。

#### (2) 今後の課題

- 一方で、不読率は改善しているものの、現行プランの目標値の達成には至らず、全国レベルにも達していない。

- ほとんどの保護者が「子どもが読書好きになってほしい」と思っているが、現実には読書が好きな児童生徒の割合は減少している。

- 本市が独自に実施している「毎月23日はノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の実践率が低い。

- 子どもが本にふれあうきっかけとなるブックスタート事業は、67%の配布率にとどまっている。

など、解決すべき課題もあるため、今後もさらに家庭や地域、学校、市立図書館などにおける取組みの充実を図ることが必要である。

#### (3) 新たな視点

また、「北九州市子ども読書活動推進会議」の意見を踏まえ、

- ・子どもの自主性、主体性を引き出しながら取組みを進める
- ・読書の楽しさを伝え、読書への関心を高める
- ・郷土愛の醸成につながる読書活動を推進する

など、新たな視点を持って各施策に取り組んでいくことが重要である。

### 3 これからの方向性

北九州市子ども読書活動推進条例では、子ども読書活動推進計画には、子どもの読書活動の推進のための、「基本目標」、「基本方針」、「施策」及び「目標値」を定めることとしている。

#### 【基本目標】

豊かな心と生きる力をはぐくむ読書環境の充実と  
子どもが楽しく自主的に本を手取る読書習慣の形成

#### 【基本方針】

- ◆ 前計画から引き続き「不読率」の改善に取り組みます  
(読書をする子どもを増やします)

子ども時代の読書活動は、子どもが充実した人生を送るために必要となる考える力、感じる力、創造する力等を身に付ける上で極めて重要です。その重要性を子どもや保護者に認識してもらい、読書を楽しいと感じ、積極的に読書活動を行う意欲を高めることで、「不読率」の改善に取り組みます。

- ◆ 読書の量に加え質の向上を目指します  
(主体的に良質の本を読む子どもを増やします)

子どもの読書活動を推進する目的は、子どもの成長に必要な豊かな心と生きる力を子どもが獲得することです。たくさんの本を読むことは大切ですが、それ以上に必要なことは、子どもが主体的に良質な本を読むことです。  
あらゆる場所や機会に良質の本にふれあえるよう環境を整え、子どもたちがそうした環境のもとで、主体的に質の高い本を求める姿勢を培っていくことが大切です。

- ◆ 子どもの読書活動を取り巻く人材ネットワーク形成  
(子どもの読書を支える大人を増やします)

子どもたちが本と出会うためには、学校図書館や市立図書館を整備することに加え、本と子どもをつなぐ「人材」が大切です。そのために、教職員や図書館職員はもとより、市民ボランティア、関連施設に所属するスタッフなど、子どもの読書活動に関連する様々な人材の育成が重要です。

#### 【施策と目標値】

##### 《施策1》 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

指標	現状	H32 年度目標値
家庭や学校図書館、市立図書館で、普段(月～金曜日)読書を全くしない児童生徒の割合(不読率)	小6 22.8% 中3 41.4%	小6 18.0% 中3 35.0%
はじめての絵本事業(ブックスタート事業)における絵本配布率	67.1%	100%
児童生徒の1か月あたり読書冊数	小学生 9.7冊 中学生 3.5冊	小学生 12.0冊 中学生 4.0冊
家庭教育学級における子どもの読書をテーマとする講座開催数	23回/年	100回/年

##### 《施策2》 学校における子どもの読書活動の推進

指標	現状	H32 年度目標値
週に1回以上、一斉読書の時間(10分間読書など)を実施する学校の割合	小学校 97.8% 中学校 33.9%	小学校 100.0% 中学校 50.0%
学校司書(学校図書館職員)の配置	31人	63人
学校図書館における地域・郷土コーナーの設置	小学校 48.1% 中学校 61.3%	小学校 100.0% 中学校 100.0%

##### 《施策3》 市立図書館における子どもの読書活動の推進

指標	現状	H32 年度目標値
市立図書館における子ども(18歳以下)1人あたりの貸出冊数	5.3冊	6.0冊
読み聞かせボランティアバンクからの派遣件数	15件	30件

##### 《施策4》 子育て関連施設における子どもの読書活動の推進

指標	現状	H32 年度目標値
「早寝・早起き・朝ごはん・読書カード」事業への認定こども園、幼稚園、保育所参加数	45施設	90施設
子育て関連施設における市立図書館からの貸出文庫登録施設数	67施設	90施設

##### 《施策5》 市立図書館と学校、市民センターその他関係施設の連携強化

指標	現状	H32 年度目標値
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館を全く利用しない児童生徒の割合	小6 34.7% 中3 55.4%	小6 30.0% 中3 50.0%
「学校貸出図書セット」利用学校数(延数)	72校	100校
市民センターにおける読み聞かせ実施館数	116館	129館

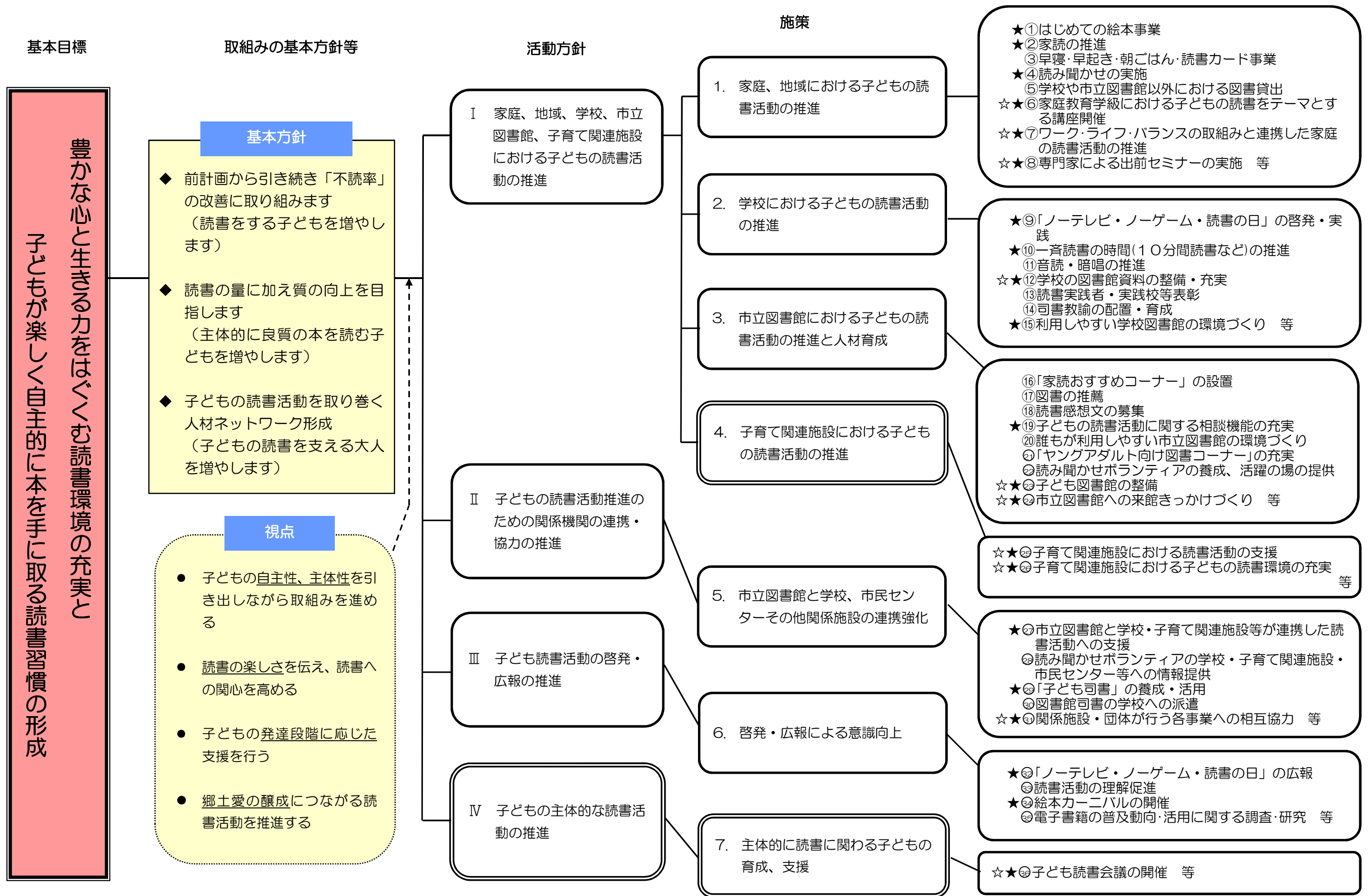
##### 《施策6》 啓発・広報による意識向上

指標	現状	H32 年度目標値
「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」の実践率	小学生 34.1% 中学生 10.7%	小学生 50.0% 中学生 30.0%

##### 《施策7》 主体的に読書に関わる子どもの育成、支援

指標	現状	H32 年度目標値
読書が好きな児童生徒の割合	小6 73.2% 中3 67.1%	小6 80.0% 中3 75.0%

※ 現状については、平成26年度または平成27年度調査分(可能な限り最新のもの)を採用。



**新・北九州市子ども読書プラン**  
**《第3次北九州市子ども読書活動推進計画》**  
**検討経過及び今後のスケジュール**

年 月	会議等	論点等
平成27年3月19日	◆平成26年度第2回子どもの読書活動推進会議(市政運営上の会合)	・次期計画の策定(見直し)について発案 ・アンケート案への意見聴取等、その他意見交換
平成27年5月	アンケート実施	8月中旬までに集計・分析
平成27年7月3日	子ども読書活動推進条例施行	検討体制の改編 付属機関「子ども読書活動推進会議」設置
平成27年8月17日	◆子ども読書活動推進会議第1回検討会議(付属機関)	・会議の説明、会長・副会長選出 ・現行計画の進捗状況報告 ・アンケート調査結果報告 ・現行計画における成果と課題の抽出
平成27年10月6日	◆子ども読書活動推進会議第2回検討会議(付属機関)	・次期計画の方向性について(子ども図書館機能の検討含む)
平成27年11月13日	◆子ども読書活動推進会議第3回検討会議(付属機関)	・次期計画(素案)について ・子ども図書館の整備について
平成27年11月20日	◎教育委員会会議	次期計画(素案)について
平成27年12月10日	常任委員会	次期計画(素案)について
平成27年12月15日 ～平成28年1月15日	《 パブリックコメント 》	
平成28年1月～2月	◆子ども読書活動推進会議第4回検討会議(付属機関)	市民意見の概要と市の考え方について
平成28年1月～2月	◎教育委員会会議	市民意見の概要と市の考え方について
平成28年2月	常任委員会	市民意見の概要と市の考え方について
平成28年2月～3月	◎教育委員会会議	次期計画の策定について(成案議決)
平成28年3月	常任委員会	次期計画の策定について(諸報告)